

会 議 録

1 会議名

令和 7 年度 第 4 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和 7 年 7 月 22 日（火）午後 6 時 00 分から午後 6 時 45 分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：池亀副会長、草間委員、越水委員、杉田委員、千町委員、田木委員、
塚田委員、南保委員、船崎会長、山本委員、横田委員、横山副会長、
（欠席 2 名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【船崎会長】

- ・会議の開会を宣言

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認：横田委員に依頼

次第２議題「（１）自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

前回、「道」に関して基本的にソフト面で課題を解決していくことが決定した。ハード面は、県や市へ要望を出すという動きは地域で行われているため、道路を直すとか物理的な要望は、地域協議会では行わない。ソフト面で地域協議会は、どのような活動を行うのか、どのようなことを協議するのかについて、委員の認識を合わせておきたい。

前は例として、街中のウォーキング大会を実施することで「道」から地域で抱える問題に気づき、地域に関する理解を深める活動を地域に促し、地域の人たちの意識を変える取組を提案した。また、「道」を歩くことで、雁木の良さに触れる機会もあると思う。冬の雪よけとしては良いが、歩きにくいなどの声もある。今の季節は日よけにもなり、日陰になるので涼しくて歩きやすいなどの良さもある。

新道区内を確認したところ、横断歩道の手前に子どもたちの一旦停止を促すための黄色い足跡が表示されている。稲田の町内の公園などにも、飛び出さないように足跡のマークがついている。そのような取組を以前から行っていたと思われる。そういう新道区のところもあるので、「道」から地域ができることをソフト面から考えていただきたい。

【船崎会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

（意見無し）

引き続き、事務局から本日の審議の進め方について説明する。

【渡邊係長】

- ・資料に基づき説明

【船崎会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

（意見無し）

それでは、意見をまとめる時間を取り、一人ずつ発表することとする。配布されたカードに５分程度で意見を書いて、強み・弱みを一人２分程度で発表することとする。

【横田委員】

道路に関するハード面はこの課題とは違うと思うが、そうすると例えばアクセスが良

いとか、除雪等についてとか、強み弱みのところで、道ということになると、私はこの辺が重要だと思ってはいるが、これから協議していく題材として取り上げても意味がないということにはならないのか。

【渡邊係長】

例えば交通アクセスが良いことで、何かソフト事業が生まれるかもしれないので、今の段階では皆さんの意見を否定することはしない。ハードの話だとしても地域で何かしたいという発想の転換はできると考える。最終的に地域協議会で市や県に要望するという動きではないが、皆さんの意見にヒントがあると思うので、普段思うところをいろいろと挙げていただきたい。

ハードの例として、死角が多い場所やミラーが必要な場所などからの飛び出しをなくすために、子供たちにも分かりやすいように黄色い足跡を付けたのかもしれない。発想の転換が考えられるので、ソフトやハードにこだわらず記入し、発表していただきたい。

【塚田委員】

弱みとして、今、子安の方からこの道路を通行して来たが、道幅が狭く、川の所がネックになっていると感じた。

【南保委員】

強みは新道区において、県道牧方面、三和方面、安塚方面など東西線はアクセスがよく充実している。弱みは南北線である板倉直江津線の特に関東地内が狭いこと。縦横で行き来するのに、利便性に差があるところ。

【山本委員】

強みとして、新道地区からバイパスへ出るのに、いくつも通りがある。富岡、寺、稲田、鴨島、子安からすぐにバイパスに出られるのが便利。富岡方面は見通しが良いので、歩いている子供や、自転車を見付けやすい。弱みは、下稲田から鴨島までの富岡線が狭くてカーブが多い。稲田小学校前もカーブが多く、通りづらい。

【横田委員】

強みは、国道や高速等については非常にアクセスがよく、住みよいこと。弱みは、県道が非常に狭く、特に富岡方面は歩道の幅が狭いところがあり、非常に歩きにくい。横断歩道も規定によって、150メートルぐらいに1本しか作れないということになると、歩道の確保が安全上も大事だと思う。それと、寺と富岡の十字路の信号に右折信号が無いので渋滞になる。

【池亀副会長】

生活していて一番の魅力はアクセスが良いこと。弱みは富岡線。稲田一丁目に住んでいるが、やはり狭い。特に雁木では登校時、児童は大体一列に並んでいるが、下校時は広がって歩いてしまい、道路にはみ出してしまうことが心配だ。それを学校やPTAで周知してもらえば、安全に雁木を通ることができると思う。

【船崎会長】

強みはアクセスが良いことで、特に、商業施設や病院などにも行きやすい。例えば、東京などに行くために駅へ行くのも、鴨島からだとも10分ぐらいで着く。富岡はもう少しかかるが、そういう意味では商業施設や医療施設も含めて、アクセスが良いのが強み。

弱みは特に横の幹線道路、板倉直江津線、鴨島三叉路から下稲田までは狭くて危ない。車も通行しにくいし、歩いてもやはり危ない。稲田に雁木があるが、幅が狭く、子供たちは、どうしても雁木からはみ出して危ない。あとは冬の除雪の期間は幹線道路が一車線になってしまう。除雪をしても排雪場所の問題もあるが、市に働きかけて早く排雪できるようにしてもらうことも必要。それと鴨島南部のバス路線、公共交通機関があまりにも不便。もっとも利用客も少ないからそうなるが、改善した方がよい。特に高齢者は市からのタクシー券もあるが、バスで動いた方がよいと思うので、路線の見直しが必要。

【横山副会長】

休日等の人の往来が大変増加してきている。特に北部の方にそれを感じている。そして、この新道区は農業と商業が融合した産業の発展の可能性を秘めていると感じる。病院やスーパーなど、私たちの生活に直結する施設等が身近にあり、これからはいろいろな発展のポテンシャルを秘めた地域といえるのではないかなと思う。

弱みは、交通量の増大にも関わらず、県道等の道路環境が追い付かず不十分である。それから新道区の南部、中部、北部の人々との交流やつながりがまだまだ弱い、その点はこれからの発展の可能性を十分秘めていると考えられる。

【草間委員】

強みは、アクセスが良いことだが、これに関しては大通りの話であり、大通りから一歩下りれば渋滞。逆に県道から上るにも渋滞。特に今の時間帯は、どこもかなりの渋滞という状況が続いているので、強みなのだが、ほぼ弱みになっていくという話。県道自体が本当に狭くて、自転車に乗る人もこれから増えると考えられる。グリーンベルトが引かれていて、児童は朝、一列で登校するが、下校時はふざけながら歩いている。非常

に危険で、鴨島から稲田の道はあまり通りたくない状況になる。

【越水委員】

強みは、前回の s t e p 1 で出たそのとおりで、他に意見はない。

弱みは富岡線、右折信号がある所とない所、それから対向車線にあり、自分が行く方面にはないのが不便。特に稲田の交差点は、朝の出勤時は大変な渋滞。稲田商店街の裏の方に住んでいて、朝は駅方面に行きたいが、ひどいときには 5 分以上待たないと出られない。時には辛抱できずに強引に出ることもあるという状態なので、やはり幹線道路から降りたところ、特に富岡線については検討していただきたい。ただし、あの場所は住宅地で道を拡幅できない。行政でよく考えていただきたい。

【千町委員】

良いところはアクセスで、市役所や商業施設などへ行きやすい。また、長岡市や新潟市に出張に行き、帰りの高速道路からバイパスに乗って妙高山や火打山を見ると、夕方疲れが癒されるほど眺めが良い。私の好きなところである。一方、弱みは道路幅が狭い。特に稲田交差点での右折については、誰もが感じるところで、私も同意見。

【田木委員】

強みはアクセスが良いこと。弱みは交通量が多い割には、道が狭いところ。

【渡邊係長】

他の委員の発言に対して、質問や意見はあるか。

【草間委員】

先ほどの道路の端の黄色い足跡の話だが、うちの町内でも試みたが、市の道路なので勝手に作ってはいけないと言われた。足跡マークは子供会が持っているみたいだが、それは付けていいものなのか。

【渡邊係長】

必要な手続き無しにはできない。その上で例えば、市の地域独自の予算事業を活用して、地域の皆さんがする、または市の事業として、道路課や、都市公園内であれば都市整備課が行う。住民のご好意でここに付けてもいいよという方もいらっしゃるかもしれないし、そこは誰が管理しているかによる。以前、子ども会などでそのような取組をされたかと思うので、そこは同様の手続きをしていただければよいと思う。

【山本委員】

その黄色い足跡マークについて、子供が小学生の時、P T A 役員が学校から足跡マー

クと黄色のスプレーをもらって作成したことがある。

【渡邊係長】

そのような取組がこの地域であったということ。実際に歩いてみると、たくさんあることに気づいたので、事例として出した。雁木について、夜に歩いてみると、ポコポコしていて慣れていない人は歩きにくい。一方、暑い時期は日陰になり、日傘をささなくても充分涼しく、歩きやすい。そのような気付き方もあるので、今日はドライバー目線からご意見をいただくが、次回は歩行者や自転車、シニアカーを使う方がいれば、その方々はどのように思われているのか、という視点から考えていただきたい。県道とか雁木ではなくても、家の周りや田んぼのところの農道とかでいいので、皆さん自身が歩いてみたり自転車に乗ったりして気付きを得て、来月、ご意見をいただきたい。来月のことで分からないという方は、それはそれで意見としていただきたい。

【船崎会長】

次回は自分で歩いた場合に、どのような強み弱みがあるか、協議することとする。

以上で、次第2 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第3 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：8月26日（火）午後6時から

新道地区公民館 多目的ホール（予定）

【船崎会長】

以上で、次第3 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第3 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【渡邊係長】

市の資産活用課からの連絡事項をお伝えする。昨年度、旧観光物産センターの建物の利活用に関する説明をした。既に市の施設ではないが、その後の進捗として、近々、旧観光物産センターとリージョンプラザ上越ロータリーとの角にある敷地内の樹木を伐採する予定であることを、ご承知おきいただきたい。

【横田委員】

交差点の街路樹を伐採するということか。

【井守所長】

敷地内の樹木のみ伐採する。

【船崎会長】

他に何かあるか。

(無しの声)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。